

最終更新日： 2023年4月27日

| | | | | |
|-----------------|---|----------|---|---------|
| 授業科目名 (講義題目) | マネジメント演習 I -2 (イントレプレナー養成講座 by Relic) (Relic寄付講義) | | 開講学期 | 前期 |
| | | | 曜日時限 | 集中 |
| | | | 単位数 | 2 |
| 担当教員名 | 一江 健一郎 (高田 仁) | 講義コード | 科目区分 | 対象学生 |
| | | 23176022 | 選択 | 1年生/2年生 |
| 開講予定日 | ① 8/19 (土)、② 8/26 (土)、③ 9/2 (土)、④ 9/17 (日)、⑤ 9/30 (土) ※ 集中講座方式のため、各回連続3コマ開講。 | | | |
| 履修条件 | 特になし ※『コーポレートアントレプレナーシップ特論』の受講を推奨する | キーワード | <ul style="list-style-type: none"> ・新規事業開発 ・イントレプレナーシップ ・PFF/CPF/PSF/PMF | |
| 全体の教育目標 | 新規事業開発の要件となるマインドとスキル、及び新規事業開発を進めるうえでのプロセスについて体系的に理解する | 個別の学習目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・イノベーションの当事者としてのマインドを修得する ・新規事業開発を進めるうえで働きかけるべき組織的要点について説明できるようになる ・構想立案からプロトタイピング、検証、仮説再構築までのプロセスを修得する | |

| | | | | |
|-----------------|--|---------|--|--|
| 授業の概要 | 受講生は、初回講義で企業において新規事業開発を進めるためのマインドとプロセスについて概観したうえで、新規事業のアイデア創出手法について学ぶ。第二回授業以降、プロジェクトチームを組成した上で、各チームは講師のファシリテーションと講義に沿って自分たちのアイデアをブラッシュアップし、高速で仮説構築→プロトタイピング→検証→仮説再構築→プロトタイピング→…の価値検証サイクルをまわし、ビジネスプランを構築して、最終回講義にてデモを行う。初日の基調講演については、オープン開講としQBS受講者以外の受講者も参加予定。 | | | |
| 授業の最新情報 案内方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・九州大学Moodle ・QBSインフォメーションボード (website) | | | |
| 授業形態 | <ul style="list-style-type: none"> ・講義・演習 ・グループワーク ・ディスカッション ・プレゼンテーション | 使用する教材等 | <ul style="list-style-type: none"> ・スライド資料 (電子媒体) ・映像・音声資料 | |
| 授業の進め方 | <p>【事前学習/リサーチ】受講生は、講師の指示にもとづき、当該週の授業前に動画教材を視聴する、プレゼンテーションの準備をする、リサーチを行うなどの学習または作業を行う。</p> <p>【授業中】講義中は口頭またはチャット等を用いて質疑応答、議論を行う。ただし、授業時間中はグループワーク、ワークショップを中心に行う。</p> <p>【事後学習/リフレクション】授業終了後は、Slackにて毎回授業で得た知見に関する感想、チームの進捗等をシェアし、相互にフィードバックを行う。</p> | | | |

| | |
|-------------------------|--|
| 教科書及び 参考図書 | <p>北嶋貴朗 (2021) 『イノベーションの再現性を高める 新規事業開発マネジメント ―不確実性をコントロールする戦略・組織・実行』</p> <p>※ QBS受講生には、初回授業時に1人1冊を贈呈するため、購入は不要。初回授業よりも前に通読を希望する場合は、学務課を通して講師にお問い合わせください。</p> |
| 試験・成績 評価の方法等 | <p>講義や全体ディスカッションにおける質問や発言による授業への自発的貢献―20%</p> <p>Slackへの投稿・コメント―20%</p> <p>中間及び最終プレゼンテーション―40%</p> <p>チーム内での相互フィードバック―20%</p> |